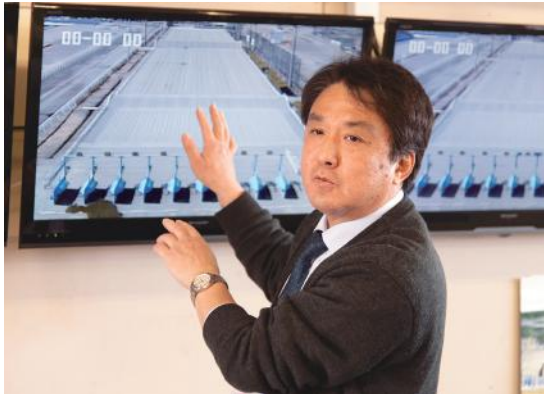


裁決委員

レースが公正上問題なかったのか、ルール通りに行われたかなど、レース中やレース後に他の委員とも連携しながら確認し、いろいろな角度から検証し、裁決委員3人体制でチェックしている。



むかいやま ひろたか
向山 裕賢さん

「公正確保やルールなど問題がないかを主眼にレースを見ていますが、騎手が一生懸命に迫力のあるいいレースをしてくれた時は嬉しいですね。競馬は公正第一なので、ここ（裁決室）が静かなのが一番です」

獣医委員

レース前に装鞍所に集合した馬の馬体検査（個体の確認、健康検査、歩様検査など）、パドックへの送り出しなどを担当。レース後に、競馬の公正確保の一部門として、禁止薬物の検査に必要な検体採取及び、馬の管理。



みよし けんいち
三好 憲一さん

「個体確認では、馬の毛色、牡牝、顔や足の白斑などの特徴を1頭ごとにデータと照合します。健康、歩様検査では、体調が完全でレースで全力が出せるよう健康状態を最重視しています。美しい馬体と迫力あるレースを展開する馬たちに感激する毎日です」

帯広競馬場のお仕事拝見！

ばんえい競馬の開催に関わる業務は実に多岐にわたり、多くの人が携わっています。ここではその一部をご紹介します。それぞれの仕事の担い手に、やりがいや難しさ、ばんえい競馬の魅力、懐かしい昔話などを伺いました。※平成28年3月27日時点で勤務されていた方々



Let's see our works behind the race!

番組編成委員

馬の格付けに応じて、各レースに出走する馬の組み合わせなどを決める。1開催6日間で66本のレースを編成。各馬のデータや賞金額などの管理も行う。



やまもと みつとし
山本 光利さん

「フルゲート10頭なので頭数が揃わず、格付け混合のレースになることも。そんな時は格付けと能力のバランスに気を使います。自分が組ませたレースの結果を検証し、次に活かすのも仕事のうち。理想は、すべての馬が一斉にゴールに入るような接戦のレースです」

馬場管理委員（パドック・実馬照合担当）

パドックで馬のゼッケン、騎手の帽色などをチェック。併せて馬が出走できる状態かどうかも見極める。装鞍所での実馬照合も兼任し、馬のデータの読み手を担当。



こたに ゆうじ
小谷 祐司さん

「帽子やゼッケンの間違いは許されませんし、歩様の悪い馬はパドックに出せないの、細かいところまで目を配ります。もともとばんえいのファンなので、馬を間近に見られる仕事できて充実感があります」

馬場管理委員（検体担当）

通過順位が1・2着の馬を検体所で採尿。1時間以内に尿をしない時は、採血のため獣医委員に連絡。尿や血液は薬物検査のため、宇都宮の競走馬理化学研究所に送る。



ながお とよあき
長尾 豊明さん

「馬の体を洗って暗い小屋に入れ、尿意を促すのですが、すぐ反応する馬としない馬がいます。統計をとっているの、あ、この馬は何分くらいだな、と、だいたいわかりますね。小屋の中は狭いので、尿をとるのもひと苦労。中には蹴る馬もいるので気が抜けません」

検量委員

騎手の検量を担当。レース前に騎手重量が規定の77キロあることをチェックする「前検量」と、レース後1～6着の騎手を対象とした「後検量」とがある。後検量において差が600グラム以上あった場合は、裁決委員に報告。



のむら あきのり
野村 昭則さん

「騎手は各自、弁当箱と呼ばれる箱にウェイトを入れて騎手重量を調整します。前検量で過不足があればその場で調整し、ぴったり77キロになるまで再検量します。100グラム違っても、公正な競馬とは言えませんからね」

発走委員（スターター）

スタート前に騎手の帽色、そのの重量、装具などを最終チェック。発走準備ができれば発走台の上で赤旗を振り、「前へ出ろー！」と号令をかけ、きゅう務員がゲートを離れたら電動ゲートを開けるスイッチを押す。



よしだ けんいち
吉田 謙一さん

「騎手の緊張が伝わってくるので、できるだけ早くゲートを開けるようにしています。ドンときれいにスタートしてくれると嬉しいですね。やった！と思うのは、旗がきれいに振れた時。風で煽られたりして、意外と難しいんですよ」

映像配信センター

映像配信業務の統括責任者。レースの実況、レース映像、オッズ表示、スタジオ映像など、すべての放送映像を配信管理する。OCTV帯広シティーケーブルへのレース中継の配信もここから。



あかほり みちのり
赤堀 倫憲さん

「生放送はやり直しがきかないので、緊張感があります。お客様の反応がわからない部署ですが、多くの方が放送を見ていらっしゃるの、それを自分が支えているかと思うと、責任を感じると同時に誇りに思っています」

決勝判定委員

コースを見下ろす決勝判定室からレースの行方を追ひ、スタンド正面のタワーから撮影したスリットカメラの写真を確認し、着順を判定する。ストップウォッチで1着の馬がレースに要したタイムも測定。判定結果を表示する電光掲示板の操作もここから行う。



たなべ けんた
田辺 健太さん

「ばんえいが好きなので、この仕事にやりがいを感じています。特にばんえい記念の判定は特別ですね。印象に残るのは平成27年3月のレース。馬が障害を降りて一生懸命走る姿を見て、仕事中心にかかわらず泣きました」

総務委員（広報担当）

レース結果やイベント案内などを報道に伝えるプレスリリースの作成。ばんえい競馬の魅力や女性目線で伝えるフリーマガジン『ポムレ』の編集や、お客様の案内業務を担当。



いしだ まき
石田 真紀さん

「ばんえい競馬は最後の1頭がゴールするまで、みんなが応援するのが魅力。お客様とのつながりの中で、そんな魅力を発信していきたいと思っています。前例のないことを試行錯誤しながらやっているのが大変ですが、楽しくて常に飽きません。全国にばんえいの存在を知ってもらいたいです」

整理委員

帯広競馬場内の保安管理をつかさどる。入場者の整理や、競馬場内での秩序を維持するための業務全般、お客様からの苦情処理も一手に担う。



にし のかつひろ
西野 勝広さん

「お客様への対応は、マニュアルのない仕事です。経験を積み重ねて、個々のケースに冷静に対処するよう心がけています。以前に比べると、今のお客様は穏やかで、苦情も減っています。観光客や競馬初心者の方が増えて、競馬場の雰囲気がいびん変わりましたね」